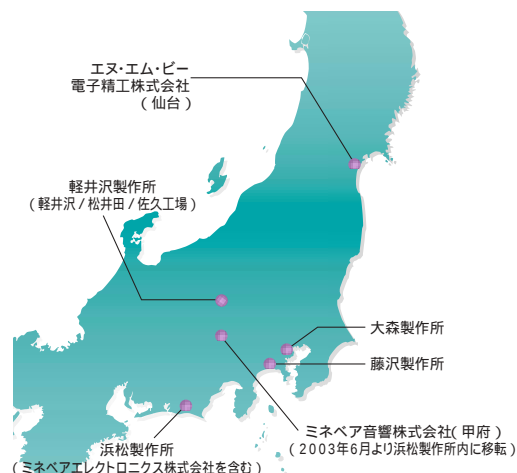


- 対象期間: 2002年4月1日～2003年3月31日
- 対象範囲
ミネベアグループ総生産高の約90%を占める
日本及びアジア地域の全工場

▶ 日本

ミネベア株式会社
軽井沢製作所
(軽井沢 / 松井田 / 佐久工場)
藤沢製作所
大森製作所
浜松製作所 R & Dセンター
(ミネベアエレクトロニクス株式会社を含む)
ミネベア音響株式会社 (2003年6月より浜松製作所内に移転)
エヌ・エム・ピー電子精工株式会社



▶ アジア

タイーミネベアグループの全工場
中国ーミネベアグループの全工場
シンガポールーミネベアグループの全工場



沪S(2003)092号

- 本報告書は、ミネベア株式会社とそのグループ企業(以下、ミネベア)が取り組む環境保全活動を、多くの方々に紹介し、ご理解いただくために作成しました。
- 本報告書の作成にあたっては、環境省による「環境報告書ガイドライン」を参考にしました。
- 専門用語、あるいは日常用語としてなじみのない用語については、それぞれの記載ページ下部に用語説明を添えました。
- 外部機関による環境報告書の第三者意見書については、実施方法等が確立されていないため、本報告書での掲載は見合わせました。
- 以下の URL において、ミネベアの環境保全活動を紹介しています。

http://www.minebea.co.jp/company/company_top.html

「環境報告書ガイドライン」との対応一覧表

環境報告書ガイドライン項目	記載ページ
1. 基本的項目	
経営責任者諸言	P1
報告にあたっての基本的要件	P3
(対象組織・期間・分野・作成部署・連絡先)	
事業概要等	表紙裏
2. 環境保全に関する方針、目標及び実績等の総括	
環境保全に関する経営方針、考え方	P4
環境保全に関する目標、計画及び実績等の総括	P8-9
環境会計情報の総括	P10
3. 環境マネジメントに関する状況	
環境マネジメントシステムの状況	P5
環境保全のための技術、製品・サービスの環境適合設計(DFE)等の研究開発の状況	P12-15
環境会計情報開示、環境コミュニケーションの状況	P23
環境に関する規制遵守の状況	P7,16-19
環境に関する社会貢献活動の状況	P24-25
4. 環境負荷の低減に向けた取り組みの状況	
環境負荷の全体像	P6-7
(事業活動のライフサイクル全体の把握・評価)	
物質・エネルギー等のインプットに係わる環境負荷の状況及びその低減対策	P6,12-21
事業エリアの上流(製品・サービス等の購入)での環境負荷の状況及びその低減対策	P11
不要物のアウトプットに係わる環境負荷の状況及びその低減対策	P6-7,12-21
事業エリアの下流(製品・サービスの提供)での環境負荷の状況及びその低減対策	P12-21
輸送に係わる環境負荷の状況及びその低減対策	P15
ストック汚染、土地利用、その他の環境リスク等に係わる環境負荷の状況及びその低減対策	P16-21